山梨新報
2016年(平成28年)
第2931号
8月19日
(毎週金曜日発行)
発行所　©山梨新報社
〒400-0864甲府市湯田二丁目9-8
(UTY会館内)
☎055-237-8121 FAX055-237-8142
振替口座00400-1-5072
年間購読料 4,800円

風林火山物語
山紫水明
山梨のおみやげに
お茶の春木屋

ウェブ上での表示はできません。

夏を変えよう!!

甲府市で最高気温が連日30度を超えるなか、公共施設や商業施設などの涼しい場所を共有する「クールシェア」の取り組みが進んでいる。また暑さを販促に生かそうと、百貨店や理容店ではユニークなサービスを提供する。暑さにまつわる話題を拾った。

クールシェア

県は環境省がスーパークールビズの一環として2012年から呼び掛けているクールシェアを今年度、「やまなしクールシェア」として初めて実施。夏場の電気使用量の半分を占めるといわれるエアコンの使い方を見直し、家庭ではエアコンを使用した1部屋に家族が集まったり、図書館や商業施設に出掛けることを促し、みんなで〝涼〟を共有することが目的。

県では初めての取り組みとあって今回は、県民への周知や普及啓発に力を入れ、リーフレットを作成。現在、県の施設18カ所のロビーなどをクールシェアスポットとして開放し、省エネや節電を県民に呼び掛けている。また、スーパーのいちやまマートやオギノ、甲府商店街連盟などの商業施設も協力している。県の担当者は「電気量の節約になるので、共有施設などをぜひ有効活用してほしい」としている。

甲府市では14年から、夏の節電効果のほか、熱中症対策で本庁舎や市立図書館、公民館などをクールシェアスポットとして市民に利用を促し、今年は24カ所で実施している。

市総合市民会館では、イベントモールの大型テレビで甲子園のパブリックビューイングを行うなどして、市民に開放。また、市立図書館は、夏休み中の8月は例年4万人を超える利用があり、今年は冷水機付近にスポットであることを示すシールを貼ってクールシェアを周知している。市の担当者は「暑い夏は休憩の場として冷房の効いた公共施設に立ち寄り、熱中症を予防してもらえれば」と話した。

クールシェアスポットの甲府市立図書館(16日)

涼しいサービス

同市丸の内1丁目の岡島百貨店は今夏から同市の予想最高気温が35度以上の猛暑日に限り商品を割引するなどのサービスを始めた(31日まで)。クールシェアを集客につなげる取り組みは既に大手百貨店で進められ、岡島は「(最高気温)ランキング上位の甲府にこそ必要なサービス」と他店の動向を見ながら企画を練り上げた。

男性用肌着が2割引きになったり、足元に冷却スプレーを塗布するなど約30種のサービスを提供する。15日までに6日間実施したが、同店は「顧客の関心が高く、手応えを感じている。夏は(エアコンの効いた)涼しい店内で買い物を楽しむという習慣を定着させたい」としている。

冷やしシャンプーで顧客を洗髪する三沢支部長(14日)

一方、県理容生活衛生同業組合甲府支部では4年前から、7～9月の間、加盟120店舗で「熱中症避難場所」と貼り紙を掲示。メントール系のシャンプーを冷やして使う「冷やしシャンプー」のサービスのほか、店内をクールシェアスポットとして開放する。三沢陽太郎支部長は「(一連の活動は)顧客から夏の定番と徐々に認識されている。店主のなかにはスポーツドリンクを贈呈したり、自主的に熱中症対策法を勉強するなどサービス向上に力を入れている」と説明する。

背景には大手チェーン店との差別化がある。低価格と短時間をセールスポイントに挙げる大手と競り合うため、三沢支部長は「地域の癒しの場にならなければ。季節に応じたサービスで顧客を確保したい」と話している。

厳しい残暑続く　夏風邪にも注意

関東甲信地方の1カ月予報によると、気温は来月中旬まで平年より高く、「厳しい残暑が続く」(甲府地方気象台の北野芳仁調査官)とみられる。

本県では今月1～15日に79人(前年同期138人)が熱中症で救急搬送され、このうち30人が65歳以上の高齢者だった。県は「曇りや雨の日でも高温多湿の環境なら熱中症になりやすい」と強調。対策に役立ててもらおうと、現在ホームページで気温や湿度などから算出する暑さ指数(WBGT)を公開している。

熱中症のほか、主に乳幼児が感染する夏風邪の一種「ヘルパンギーナ」の流行期を迎え、警戒が必要。県は「ウイルスの潜伏期間が短く、対処療法だけで回復する。ただ高熱に伴い脱水症状になる危険性が高いので注意してほしい」と呼び掛ける。

【訂正】12日付1面「老後破綻」の記事中「国民年金基金加入者は付加年金を検討すると良い」とありましたが、正しくは「国民年金第1号被保険者(任意加入被保険者・65歳以上を除く)は定額保険料に付加保険料を上乗せすることができる」に訂正します。

県内の最高気温ランキング (16日現在)

順位	気温(度)	観測日	観測地
1	40.7	2013年8月10日	甲府
2	40.6	同8月11日	〃
3	40.5	同8月10日	勝沼
4	40.4	04年7月21日	甲府
5	39.9	同7月20日	〃
		1990年7月19日	大月
7	39.8	94年8月4日	甲府
8	39.7	01年7月24日	〃
		94年8月2日	〃
10	39.5	13年8月11日	勝沼

※甲府地方気象台調べ

有言実行　メダル獲得

リオ五輪

競泳　江原騎士選手(23・甲府市出身)

甲府市出身の江原騎士(だいと)選手(23・自衛隊体育学校)がリオデジャネイロ五輪の競泳男子800㍍リレーで銅メダルを獲得した。競泳男子選手としては県勢初のメダリスト。日本は同種目で1964年の東京五輪以来、52年ぶりの表彰台に立った。

五輪初出場の江原選手は7日(日本時間)の男子400㍍自由形予選で敗退したが、10日(同)のリレー予選と決勝はベテランの松田丈志選手(32・セガサミー)率いる日本の第2泳者として粘り強い泳ぎを見せた。

トピックス

甲府の恩師に見守られて

シーズン途中からFC東京を率いる　篠田善之監督(45・甲府市出身)

就任への思いなど話す篠田監督(10日)

サッカーJ1・FC東京は先月、成績不振のため城福浩監督(55・元VF甲府監督)を解任し、甲府市出身の篠田善之コーチ(45)を昇格させた。篠田監督は現役時代、1年間甲府クラブ(VFの前身)に在籍。甲府にゆかりのある人物同士の指揮官交代となった。

突然の監督就任要請だった。FC東京は先月23日の川崎戦後、年間成績が7勝5分け10敗の13位と不振に陥り、目標に掲げた「リーグ優勝」が遠のき立て直しを迫られた。篠田監督は「(クラブが)今季末まで城福体制を継続すると認識していたため、(就任要請は)本当に寝耳に水。選手はなかなか結果を出せず、自信をなくしている状態だったので、チーム全体が上向きになればとの思いで即決した」と振り返る。

「躍動感」「ハードワーク」「アグレッシブ」の三つを強化のキーワードとしている。就任後、攻守の切り替えの速さや球際の強さなど「サッカーの原点」に立ち返り、練習の強度を上げた。持ち前の前向きな性格で選手を鼓舞し続け、サポーターからは「(チームの)雰囲気が明るくなった」と歓迎の声も聞かれる。13日現在、残留圏内の12位だが、降格圏の16位との勝ち点差は13しかなく予断を許さない。

篠田監督は甲府西中、機山工業高(現甲府城西高)卒業後、甲府クラブ、中京大、福岡ブルックス(現アビスパ福岡)でプレー。2004年の現役引退後、指導者に転身し、08年7月から11年8月まで福岡の監督を務め、クラブをJ1昇格に導いた。12年からFC東京のコーチを務めた。

中学時代の恩師、吉野喜久男さんと高校時代の三枝志朗さんは卒業後も交流を続け、監督就任後初戦となった先月30日の新潟戦翌日、電話で勝利を祝福してくれたという。「厳しさと優しさを兼ね備えた2人の先生に教わったことで、私はサッカーの楽しさを実感できた。サッカー人生の礎を築いてくれた2人から激励を受けるたびにうれしい。一方で当時の厳しい練習を思い出し、身が引き締まる」と笑顔を見せた。

極超短波

「私たちが暮らす山梨がどのような所なのか、古代から現代まで実証に徹する姿勢、その情熱に心から敬意を抱きました」◆自慢話めいて恐縮だが、筆者がこのほど出版した『アイヌ語だったやまなし』他　わが墓碑銘　甲斐史論考14編」に寄せて下さった50通余りの感想文風の礼状の中の、俳人A氏の一通である◆また元知事B氏からは「私の知らなかった山梨の幾つかの研究、中でも〝なまよみ〟の甲斐の枕詞(まくらことば)の成立のいきさつを初めて知りました」と、多分に謙遜されての賛辞を頂いた◆「なまよみ、酒折宮、本居宣長、古代豪族三枝氏などは一気に読んでしまいました。ご高齢なのに詳細に調査検討され、達意の文章で記述されていることに敬意を表します」とは、元県教育長のC氏◆さらに県考古博物館長のD氏をはじめ、同じ郷土史研究をライフワークにする方々に、さまざまな励ましの便りを頂いた◆その一人、北杜市のE氏は『アイヌ語だったやまなし』は初耳だが最も適切な見解」。F氏からは「学術的知識に独自の見解を加えた楽しい内容で、学者にはまねのできない論考」と評価を下さった◆G氏は「(古代御坂路―現国道137号線―の三駅馬の内)水市は山中湖畔だったを興味津々で読みました」の感想を寄せ、H氏からは同じ「御坂路」などについて独自の研究論考を頂く◆こうして下さった『甲斐史論考14編』への多数のご感想に、あるいは社交辞令と思いながら、照れつつ、一方では臆面もなく嬉(うれ)しがっている筆者である◆卒寿翁となった今は、14編の論考のうち、一つでも「甲斐史の定説」となることが残る夢である。(S)

人に、社会にやさしい印刷物をご提案します。
子ども・高齢者・障がい者にも
見やすい!分かりやすい!伝わりやすい!
MEDIA UNIVERSAL DESIGN
MUD協会 会員
当社は山梨県内で唯一の、
メディアユニバーサルデザイン協会会員です。
有限会社 オズプリンティング
http://www.ozp.jp
☎055-235-6010(代)
〒400-0032 甲府市中央3丁目8-10
FAX:055-232-4098　E-mail:info@ozp.jp

全国1000店舗チェーン
アパート・マンション お部屋さがしは―
Dramatic Communication
アパマンショップ NETWORK
☎055 222-4333 甲府店
カウンターで
理想のお部屋へ
ナビします。
www.apamanshop.com/
THE FIRST STEP TO YOUR NEW LIFE
総合生活情報産業
株式会社U・エステート
〒400-0031 甲府市丸の内2丁目13-9
☎055-228-7741(代)
www.u-estate-k.co.jp
宅地建物取引業山梨県知事免許(9)第1077号

コレクションによる
進藤春木展　山の移ろい　色彩の風
2016年10月6日(木)まで 開催中
午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
休館日/8月22日(月)、29日(月)、9月5日(月)、12日(月)、20日(火)、26日(月)、10月3日(月)

《山脈(1)》 1990年

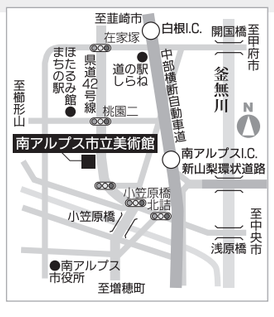
《トレド》 1978年

《冬山》 1986年

進藤春木は、1922(大正11)年長野県諏訪郡富士見町に生まれた画家です。1944(昭和19)年に東京府立豊島師範学校を卒業後教職に就き、同年、入営し戦地に赴きました。復員後、山梨県小淵沢町在住の叔父であり、画家でもある進藤章の養子となり、絵画の指導を受けます。そして地元の中学校で美術教師として教壇に立つ傍ら、作家として制作活動を続けました。

本展では、進藤の目を通して描かれた色彩に着目し、季節に応じて変化する山の表情を追います。画面いっぱいに描かれた山、その色彩から、漂う風を肌に感じるように、移ろい行く山の風情を感じとってみてはいかがでしょうか。山を描いた風景画を中心に、花や壺などの静物画を含め水彩画30数点を展示します。

入館料
一　般 300円
大高生 250円
中小生 150円
20名以上団体料金2割引



南アルプス市立美術館
〒400-0306 山梨県南アルプス市小笠原1281 TEL 055(282)6600　FAX 055(282)6601